

秘锡钊 / 主编

高校日语专科系列教材

日语阅读

(一)

南开大学出版社

高校日语专科系列教材

日 语 阅 读

(一)

主 编 秘锡钊

副主编 高春荣

审 订 赵文华

编 委 梁淑梅



南开大学出版社
天津

图书在版编目(CIP)数据

日语阅读. 1 / 秘锡钊主编. —天津: 南开大学出版社,
2008. 7

(高校日语专科系列教材)

ISBN 978-7-310-02885-6

I. 日… II. 秘… III. 日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 082513 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人:肖占鹏

地址:天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码:300071

营销部电话:(022)23508339 23500755

营销部传真:(022)23508542 邮购部电话:(022)23502200

*

河北昌黎太阳红彩色印刷有限责任公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2008 年 7 月第 1 版 2008 年 7 月第 1 次印刷

787×1092 毫米 16 开本 13.875 印张 347 千字

定价:23.00 元

如遇图书印装质量问题,请与本社营销部联系调换,电话:(022)23507125

前 言

《日语阅读》（一、二册）是天津外国语大学继续教育学院全体日语教师精心编写的一套日语教材，是针对日语专业一、二年级学生以及为提高日语阅读能力为目的的日语学习者而编写的阅读教材。本书为第一册，总共 20 课。每课包括主文、词汇表、句型与语法讲解、课后练习以及自测练习五个部分。本书的特点如下：

1. 本书各课课文主要根据日本小学高年级国语课本改编，大多是经过精心筛选的篇目。注重知识性、趣味性、实用性、思想性，力求通过广泛性的题材和多样性的体裁，使学习者在学习中，增加对日本社会的了解。通过大量阅读，增强日语的语感，提高对文章分析理解能力和解决问题的能力。
2. 本书涵盖了日本的语言、文化、社会、自然等内容，共分为五个单元。每个单元基本是围绕着某一个方面展开。通过对上述内容的学习，既可以学习和掌握语言知识，还可以达到开拓视野、扩大知识面的目的。
3. 课后练习包括对课文中的主要词语、内容、主要语法表现进行练习。以突出实用性为原则，提高学习者的理解能力。
4. 自测练习部分从词汇、语法以及内容等方面提出问题，是对学生学习效果的自我检验，从而达到巩固、提高所学知识的目的。

本书的出版得到南开大学出版社张彤老师的大力支持。在编写过程中还得到天津外国语大学修刚教授和其他教师的热情指导，借此机会谨表示衷心感谢。

在编写过程中，我们力求在选材内容上使广大日语学习者达到满意，但是，由于我们水平有限，书中难免存在欠妥之处，还望广大读者提出批评指正，以便使教材不断得到完善。

编 者
2008 年 2 月

目 次

言語と文化

- 第1課 漢字の働き /1
- 第2課 書くことがら選んで /9
- 第3課 方言と生活 /17
- 第4課 相手の気持ちを考えて /26

自然と文化

- 第5課 地球の形と大きさ /37
- 第6課 人間が砂漠を作った /44
- 第7課 子供の発達と生活習慣の形成 /52
- 第8課 人類文化のあけばの /61

環境と人間

- 第9課 ライオンの狩り /70
- 第10課 エネルギーのいま・未来 /79
- 第11課 野生動物と共存できるか /90
- 第12課 環境問題とは何か /102

人間と動物

- 第13課 おじいさんと兎 /113
- 第14課 タニシ /121
- 第15課 ペットの目 /129
- 第16課 ちょっと待ってあげて /141

社会事情

- 第17課 わたしたちと裁判 /152
- 第18課 「世間」とは何か /163
- 第19課 他人を見下す若者たち /173
- 第20課 世界の宗教 /184

文型と表現 /197

チャレンジの正解 /199

新しい言葉 /205

第1課 漢字の働き

日本語の文章は、普通、漢字と仮名で書かれています。もしも、漢字を使わずに、平仮名や片仮名だけで文章が書いてあつたらどうでしょうか。次の文章をちょっと見ただけで、書いてあることがすぐに分かるでしょうか。

うんどうかいのかいしはごぜんはちじさんじつぶんです。うてんのばあ
いはちゅうしになります。

同じことを、漢字と平仮名を使って書いてみると、次のようにになります。

運動会の開始は午前八時三十分です。雨天の場合は中止になります。

平仮名だけで書いたものに比べると、ちょっと見ただけでも、どんなことが書いてあるか、捕らえやすくなっています。それはなぜでしょうか。

平仮名だけで書くと、一つ一つの言葉のまとまりが、捕らえにくくなってしまいます。ところが、漢字の使えるところには漢字を使って書くと、どこまでが一つの言葉なのか、捕らえやすくなるのです。

「運動会」「開始」などの言葉は漢字で書いてあります。漢字で書いてみると、それぞれが一つの言葉であることが、目で見た時にすぐ分かります。平仮名の一字一字が読み方だけを表すのに対して、漢字は、それぞれが読み方と同時に意味も表しています。それで、漢字で書いてある言葉は、平仮名で書いてある言葉に比べて、意味も分かりやすくなります。

「うてん」と平从名で書いてあると、すぐには意味の分からない言葉があります。しかし、「雨天」と漢字で書いてあれば、「雨」という漢字と「天」という漢字の、それぞれの意味から、「雨の降る天気」という言葉の意味と、結び付けやすくなります。

漢字には読み方が二つ以上あるものが、たくさんあります。たとえば、「乗」という漢字には「ジョウ」「のる」「のせる」という三つの読み方があります。

「乗」という漢字の意味は、「ジョウ」という読み方からだけでは分かりません。しかし、「のる」「のせる」という読み方からは、この漢字の意味が分かります。「のる」「のせる」には、字の読み方と同時に、意味も表されているからです。

次に挙げる言葉の読み方と意味を考えてみましょう。

「乗船」「乗車」「乗馬」「乗客」「乗員」

「乘」に「のる」「のせる」という意味があることを知っている人には「船」「車」「馬」、また、「客」「員」の意味が分かれば、正しい読み方はできなくても、どんな意味を表す言葉かは大体分かるでしょう。それぞれの漢字が表している意味を組み合わせて、言葉全体の意味を考えることができるからなのです。

漢字を練習する時には、それぞれの漢字を読んだり書いたりするだけではなく、意味も正しく覚えるようにすることが大切です。

新しい単語

働き (はたらき) ①	(名)	功能, 作用
雨天 (うてん) ①	(名)	雨天
捕らえる (とらえる) ③	(他一)	捉住; 掌握, 抓住 (要领等)
纏まり (まとまり) ①	(名)	归纳, 总结, 条理
結びつける (むすびつける) ⑤	(他一)	结合, 联系
挙げる (あげる) ①	(他一)	例举, 提示
乗せる (のせる) ①	(他一)	装载, 装运
乗船 (じょうせん) ①	(名)	乘船, 坐船
乗車 (じょうしゃ) ①	(名)	乘车, 坐车
乗馬 (じょうば) ①	(名)	骑马
乗客 (じょうきやく) ①	(名)	乘客
乗員 (じょういん) ①	(名)	乘务员
船 (ふね) ①	(名)	船
車 (くるま) ①	(名)	汽车
馬 (うま) ②	(名)	马
組み合わせる (くみあわせる) ①	(他一)	组合, 搭配

文型と表現

①漢字を使わずに、平仮名や片仮名だけで文章が書いてあつたらどうでしょうか。

否定助动词“ず”是文语在现代日语中的残留，接在活用词的未然形后（接“する”时要说成“せず”）。只用于书面语或一些惯用表达方式，口语中使用“なくて”“ないで”。后接格助词“に”相当于“…ないで”，后面通常伴有动词句，表示“在不(没有)…的状态下，

做……”。

●雨が降っているのに、彼は傘を持たずに、出掛けた。

外面下着雨，可他不带伞就出去了。

●朝ご飯を食べずに学校へ行く学生が多い。

很多学生不吃早饭就去学校。

●あの人は毎日何もせずに、遊んでばかりいる。

他每天什么事也不干，光玩儿。

②次の文章をちょっと見ただけで、書いてあることがすぐに分かるでしょうか。

副助词“だけ”表示限定，可以与其它格助词重叠使用。连接在“見る”“思う”“考える”“聞く”等动词后，表示尽管不去亲身经历也能感受到。

●日本の生活は体験した人の話を聞くだけで、たいへんだ。

光听听有过体验的人说的话，日本的生活就很艰苦。

●そんなところへ行くのは考えるだけで、いやになる。

去那种地方，想想就讨厌。

格助词“で”表示方法、手段、工具、范围，和副助词“だけ”重叠在一起，接在体言后，表示“只用……，就……”“光……就……”。

●その国は英語だけで旅行できる。

那个国家光会英语就可以旅游。

●漢字だけで書いたものは小学生にとって、難しい。

只用汉字写的文章，对于儿童来讲，很难懂。

③どんなことが書いてあるか、捕らえやすくなっています。

どんな意味を表す言葉かは大体分かるでしょう。

副助词“か”接在体言或相当于体言的词语、动词及形容词终止形、形容动词词干后。主要有以下用法。

①对原因、理由、情况的说明，增添不确切的语气，表示“也许”“说不定”等意思。

●風邪のせいか、頭も痛いし、食欲もありません。

或许是感冒的原因，头疼还没有食欲。

●彼は家が八百屋だからか、野菜が嫌いだ。

也许是因为家里是开蔬菜店的，他不喜欢吃蔬菜。

●仕事が忙しいのか、近ごろ、彼の姿がほとんど見えなかった。

是不是工作很忙，最近总也看不见他。

●誰かに道を聞きましょう。

找个人问路吧。

②接在表示疑问的词后，表示不定或不确切。

●いつか旅行に行きたいね。

真想有时间出去旅游啊。

●みんな疲れていますから、どこかでちょっと休みましょうか。

大家都累了，找个地方休息一下吧。

●あの人は何年かアメリカに住んでいたらしい。

他好象在美国住过几年。

●友達を何人か呼んできて手伝ってもらいましょう。

叫几个朋友帮帮忙吧。

③用于带有疑问词的疑问句，引出后句将要询问或说明的内容、话题等。

●山田さんがどこへ行ったか知っていますか。

你知道山田去那了吗？

●人生をどのように生きるかは誰でも直面すべき問題だ。

如何度过人生，是无论谁都应该面对的问题。

●どうやってこの文を中国語に訳すかよく考えてください。

请你认真考虑一下怎样才能把这句话译成汉语。

④平假名の一字一字が読み方だけを表すのに対して、漢字は、それぞれが読み方と同時に意味も表しています。

“…のに対して、…”是由形式名词“の”、表示范围的格助词“に”与动词“に対して”组合而成的句型。该句型有几种用法，本课中的用法是用于连接两个相对应的事物，即：以对比的方式，分别对前后两项事物进行叙述。相当于汉语的“相对于……而言，……”。

●昨日はとてもいい天気だったのに対して、今日は雨だ。

昨天还是非常好的天气，今天却是个下雨天。

●兄はよく旅行をしているのに対して、弟はいつも家で勉強ばかりしている。

相对于哥哥经常出去旅游，弟弟总是在家用功学习。

●夫が民主党を支持しているのに対して、妻が自民党を支持している。

丈夫支持民主党，可是妻子却支持自民党。

⑤「のる」「のせる」には、字の読み方と同時に、意味も表されているからです。

前接名词以及动词基本形、简体过去式，表示继前一事情、动作后，紧接着发生了后面

的事情、动作。相当于汉语的“……的同时”。

- 私が教室に入ると同時に授業のベルになりました。

我进教室的同时，上课的铃声响了。

- 漢字と同時にいろんな文化も日本に伝えられた。

与汉字同时，许多中国文化也被传到了日本。

- 背が大きくなったのと同時に身体も強くなりました。

个子长高的同时，身体也越来越强壮了。

練 習

一、次の言葉はどう読むか、振り仮名をつけなさい。

雨天	雨具	時雨	雨上がり	梅雨	捕まる	捕らえる
乗馬	乗降り	乗場	乗つ取る	車	口車	車両

二、次の各文中の下線の平仮名を漢字に直して、後の（ ）に書きなさい。

- 漢字は、それぞれがよみかたと同時に意味も表しています。（ ）
- ひらがなだけで書くと、捕えにくくなってしまいます。（ ）
- うんどうかいの開始は午前八時三十分です。（ ）
- 漢字をれんしゅうする時には、意味も正しく覚えるようにする。（ ）

三、次の文の（ ）に適当なものを入れなさい。

- 高橋さんは社長（ ）すぐ帰れ（ ）いう電話をもらいました。
- 家（ ）出よう（ ）した時、雨が降り出した。
- 道を左（ ）曲がる（ ）、駅が見えます。
- 私の家はスーパーの近く（ ）、買い物（ ）便利なところです。
- 川の流れは急なので、水力発電を行うの（ ）たいへん便利です。
- 海辺はとても静かで、ただ波の音（ ）聞こえます。
- 河の流れが急なので、水力発電を行うの（ ）大変便利です。
- 横浜は港（ ）中心（ ）して、発展した都市です。
- 山田君は今年入学試験（ ）失敗して、がっかりしてしまいました。
- 就職のことを考えて、大学に行かずに専門学校（ ）進むことにしました。

四、例にならって、次の文を完成しなさい。

例：字 読み方 同時 味 表す います

字の読み方と同時に、意味も表されています。

1. 日本語 文章 普通 漢字 仮名 書く いる
2. 漢字 書く みる それぞれ 一つの言葉、目 見た時 すぐ分かる
3. わたし 高校時代 先生 手紙 書く
4. 家 学校 自転車 半時間ぐらい 行く こと できる
5. の人 朝寝坊 試験 時 遅刻する こと ある
6. 今 学生 よく MP3 聞く テープレコーダー あまり 聞く
7. この小説 世界中 人 読まれている
8. これ 子供 時 書く 日記
9. 手紙 友だち 旅行 行く 約束 する
10. 幸子さん 体 小さい 力 ある

五、次の中から適当な文型を選んで、文を完成しなさい。

①…ずに ②…だけで ③…か ④…のに対して ⑤…と同時に

1. 毎朝 ご飯 食べる 会社 行く 人 多い
2. どこから きれいな音楽 聞こえてくる
3. キリスト教 西洋 文化 日本 伝えられる
4. 人生 どのように 生きる 誰でも 考える
5. 鈴木さん いつ 来る 知る
6. 昨日 窓 閉める 寝る しまう
7. 展示会 多く人 見る 実は 買う
8. ドイツ 医学 発達する フランス 傑出する 文学者 生まれる
9. 北のほう 山地 多い 南のほう 平地 多い
10. 来週から また 試験 思う 考える いやになる

六、次の質間に答えなさい。

1. 平仮名だけで書いた文章と、漢字を使えるところには漢字を使って書いた文章とは読む時に、どんな違いがあるか。また、それはなぜか。
2. 平仮名と比べて、漢字には、どんな特徴があるか。
3. 漢字を学習する時に大切なことは、どんなことか。

チャレンジ

次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

ジャパニーズ・スマイルという言葉がある。日本人は、よくわけの分からぬ笑いをすると言われる。外国人はうすく思ふが、これについて悪口を言うが、それは、日本人の氣質を知らないからである。

日本人は昔から良い、悪いという判断を直接にはつきりと言ふことを避ける。相手の立場を考えて、その人を傷つけることを恐れるからである。

日本人はいつも相手の立場を考えて、ものを言う。英語では、自分の答えが肯定の時は、「YES」、否定の時は「NO」と言うが、日本語の「はい」や、「いいえ」は相手の問い合わせを重んじる。たとえば、「行きませんか。」と聞かれた時は、「はい、行きません。」とか「いいえ、行きます。」と答える。行かないことを相手が予想して聞いていていると考えるからである。

人に物をあげる時でも、「つまらないものですが。」と言う。人を呼んでごちそうする時も「何もありませんが。」と言う。理論的には「つまらないものをもらって仕方がない」、「ないものは食べられない」と考えられる。しかし、日本人は自分で自分の物を「よいもの」とか「りっぱなもの」などとは言わない。それは自分の考え方を相手に押し付けることを避けたいからである。

日本人の表現はこのようにいつも複雑な日本人の心理を反映している。

問一、「これについて悪口を言うが」にある「これ」は何を指すのか、次から選びなさい。

- A 日本人
- B 外国人
- C 日本人よくわけの分からぬ笑いをすること
- D 外国人はうすく思ふこと

問二、「つまらないものをもらって仕方がない」、「ないものは食べられない」と考えられるにある「考えられる」と同じ使い方のものを次から選びなさい。

- A この果物はくさって、もう食べられません。
- B 母からの手紙を読むたびに、故郷のことが思い出される。
- C 鈴木先生は今日帰ってこられる。
- D 近代科学が明治時代から日本に輸入続けられています。

問三、「人を呼んでごちそうする」の意味は何か、次から、正しいものを一つ選びなさい。

- A 人を招待すること

- B 人に招待されること
- C みんなでいっしょにごちそうを食べること
- D 一人でごちそう食べること

問四、次の質間に答えなさい。

1. 日本人はよい、悪いという判断を直接にはつきりと言うか言わないか、それはなぜか。
2. 「行きませんか。」と聞かれた時、日本人はどう答えるのか、なぜか。
3. 日本人の複雑な心理はどのように表現されているのか、例を挙げて説明しなさい。

第2課 書くことがら選んで

美智子さんが通っている学校は、来年、八十年を迎えます。美智子さんのクラスでは、そのことを作文に書くことになりました。

美智子さんは、学校の様子や、移り変わりを調べてから、作文を書きました。

わたしたちの中原小学校

小林美智子

わたしたちが通っている学校の名前は、中原小学校といいます。

白い三階建ての鉄筋コンクリートの校舎は、また新しい校舎ですが、学校は、来年、ちょうど八十歳の誕生日を迎えます。

学校は、だいたい、町の真ん中にあります。

屋上から、周りを見ると、町のほとんどが見渡せます。

町の北側には、鉄道が通り、中原という駅があります。町の西側には、大きな川が流れています。東から南にかけて一面の田んぼが続き、緑色の稻が風に吹かれて、さざ波のようです。

中原小学校という名前は、土地の名前を取ってつけた名前です。

お母さんの話では、このあたりは、昔、野原が広がっていて、中原と呼ばれていたそうです。だんだんと田んぼが増え、米作りがさかんになるにつれて、住む人も増え、中原村と呼ばれる村ができました。中原村が中原町になったのは、昭和二十九年だということです。

中原小学校の校章には、稻穂の模様がかかっています。

米作りのさかんな所だから、それを校章にしたのだな、と思って、お父さんに確かめてみました。

お父さんは、小学校の時のアルバムを持ち出してきて、校章の写真を指さしながら、

「お前の思っていたとおりだよ。この校章は、二本の稻穂が小の字をかこんだ形になっているのだよ。」

と話してくれました。

写真やお父さんの話から、古い校舎は木造で二階建てだったことや、プールがなかったことなども分かりました。

校庭の周りで、見事な花を咲かせる桜の木は、お父さんが中原小学校を卒業した昭和三十年には、植えられたばかりの小さな木であったことや、校門の両側にあるヒマラヤ杉も、同じころ町の人たちが植えてくれたものだということも分かりました。

中原小学校は少しずつ変わってきて、今のような、緑に囲まれたりっぱな学校になったんだなあと思いました。

新しい単語

ことがら ④	(名)	事情 (的原由、内容)
小林美智子 (こばやしみちこ)	(人名)	小林美智子
様子 (ようす) ①	(名)	情况, 状态
移り変わり (うつりかわり) ①	(名)	变迁
中原 (なかはら) ①	(地名)	中原
鉄筋 (てっきん) ①	(名)	钢筋
コンクリート ④ (concrete)	(名)	混凝土
校舎 (こうしゃ) ①	(名)	校舍
真ん中 (まんなか) ①	(名)	正中央
屋上 (おくじょう) ①	(名)	房顶上
周り (まわり) ①	(名)	周围, 四周
見渡す (みわたす) ①	(他五)	举目远望
北側 (きたがわ) ②	(名)	北侧
鉄道 (てつどう) ①	(名)	铁路
西側 (にしがわ) ①	(名)	西侧
一面 (いちめん) ①	(名)	一片
田んぼ (たんぼ) ①	(名)	水田
緑色 (みどりいろ) ①	(名)	绿色
さざ波 (さざなみ) ①	(名)	微波, 细浪
野原 (のはら) ①	(名)	原野, 野地
米作り (こめづくり) ③	(名)	稻谷生产
校章 (こうしょう) ①	(名)	校徽
稲穂 (いなほ) ①	(名)	稻穗
模様 (もよう) ①	(名)	花纹, 花样; 情况

アルバム ① (album)	(名)	相册, 纪念册
持ち出す (もちだす) ①	(他五)	拿出, 取出
指さす (ゆびさす) ③	(他五)	用手指
囲む (かこむ) ①	(他五)	环绕, 围, 包围
形 (かたち) ①	(名)	形, 形状, 样子
木造 (もくぞう) ①	(名)	木结构
プール① (pool)	(名)	游泳池
見事 (みごと) ①	(形动)	美丽, 漂亮, 出色, 巧妙
植える (うえる) ①	(他下一)	种, 种植
校門 (こうもん) ①	(名)	校门
両側 (りょうがわ) ①	(名)	两侧
ヒマラヤ杉 (ヒマラヤすぎ) ④	(名)	喜马拉雅杉
立派 (りっぱ) ①	(形动)	优秀, 卓越, 出色

文型と表現

❶だんだんと田んぼが増え、米作りがさかんになるにつれて、住む人も増え、中原村と呼ばれる村ができました。

接在用言終止形以及含有动作意义的名词后面，用来说明两种事物按正比例发展。相当于汉语的“随着……”“伴随着……”。常和“ますます”“いよいよ”“しだいに”搭配使用。书面语为“…につれ、…”。

●町の発展について、人口が大都市に集中していることは深刻な問題となった。

随着城市的发展，人口集中在城市成了严峻的问题。

●日がたつにつれて、しだいにその記憶も薄れていった。

随着岁月的流逝，那种记忆愈发淡漠。

●われわれの祖先の足は、森林が少なくなるにつれてゆっくり変化していった。

我们祖先的足迹随着森林的减少，也慢慢地发生了变化。

●人間が大きくなるにつれて、いろいろ嫌なことも多くなってくる。

伴随着人的成长，麻烦事也越来越多。

❷中原村が中原町になったのは、昭和二十九年だということです。

“のは”表示提示话题，格助词“と”指出后续动词“いう”的内容，“こと”是形式名词。相当于汉语的“据说……”，与“…話では…そうだ”的意义基本相同，引用的语感较强。

●多くの人がマイホームを買えないのは、値段が高いのだということです。

很多的人买不起房子，据说是因房价上涨。

●二人が夫婦になったのは、山口先生のおかげだということです。

听说俩人结成夫妻，多亏了山口老师。

●部長の話では、会議は一日延期するということです。

据部长说，会议延期一天。

●先生の話では、今年大学入学試験を受ける高校生が例年より多くなるそうです。

老师说今年参加大学入学考试的高中生比往年多。

練習

一、次の言葉はどう読むか、振り仮名をつけなさい。

鉄筋	鉄道	山道	木造	桜の木	原木	中原	野原
野草	模様	奥様	形	形態	形見	緑色	緑地

二、次の各文中の下線の平仮名を漢字に直して、後の（　）に書きなさい。

1. 町のきたがわには、鉄道が通り、中原という駅があります。（　）
2. だんだんとたんぼがふえ、米作りがさかんになる。（　）
3. すむ人も増え、中原村と呼ばれるむらができました。（　）
4. 中原小学校の校章には、いなほの模様がかかれています。（　）
5. 校庭の周りで、桜のきはみごとな花を咲かせる。（　）

三、次の文の（　　）に適当なものを入れなさい。

1. 米作りのさかんな所だから、それ（　　）校章（　　）したのだ。
2. 東（　　）南（　　）一面の田んぼが続き、緑色の稻が風（　　）吹かれて、さざ波のようです。
3. だんだんと田んぼ（　　）増え、米作り（　　）さかんになるにつれて、住む人も増え、中原村と呼ばれる村（　　）できました。
4. 中原小学校の校章（　　）、稻穂の模様（　　）かかれています。
5. 梅（　　）桜（　　）いろいろの花が咲いています。
6. 道が狭い（　　）、自動車（　　）通れません。
7. 試験（　　）近づいた（　　）、遊んではいられません。
8. 教科書を誰か（　　）持つていかれて、ゆうべは受験勉強（　　）できませんでした。